

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設（1－88）」

2. 日時：令和3年12月2日（木） 10時00分～12時25分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

古作企画調査官、岸野主任安全審査官、津金主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、森野安全審査専門職

日本原燃株式会社 須藤 専務執行役員 燃料製造副事業部長 他12名

東京電力ホールディングス株式会社

原子燃料サイクルグループ サイクル技術グループ チームリーダー

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子燃料部門

原燃計画グループ 担当

中国電力株式会社 電源事業本部 原子燃料管理グループ

マネージャー 他1名

九州電力株式会社 テクニカルソリューション統括本部

土木建築本部 原子力土木建築部長 他1名

日本原子力発電株式会社 発電管理室 炉心・燃料サイクルグループ 主任

大成建設株式会社 原子力本部 原子力構造技術部 第二計画室長 他3名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更
の認可申請を受理」

https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html

・ 令和3年11月30日

「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	規制庁の武田です。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始いたします。
0:00:09	本日のヒアリングは例は2年12月に申請が設工認申請につきまして、
0:00:15	先日提出があった資料をもとに、事実確認を行うものになります。
0:00:22	まず、
0:00:23	規制庁側の出席者ですが、本庁から本庁側からはハバサキとか、出席し、
0:00:31	WEBからの参加がコサク高調査官。
0:00:37	ツガネ。
0:00:39	キシノ
0:00:40	カミデスモリノタケダ以上になります。
0:00:45	それでは日本原燃のほうから出席者の紹介と、議題の個性本日の達成目標について説明をお願いいたします。
0:00:54	はい、日本原燃のナカハマでございます。原文の
0:01:00	出席者を紹介いたします。まず再処理事業部よりムラノタカハシ、ナカハマ、フジノボックスからストウタニグチと説明されてございますけれども、
0:01:15	フナコシサトウ
0:01:17	オオハシ
0:01:19	ただ、
0:01:20	今、
0:01:22	カミタイラスギタ
0:01:25	あと九州電力様より、明石様。
0:01:28	あと、加えて大成建設様からタカハシ様。
0:01:32	石黒様、渡辺様セット様の参加者となっております。
0:01:37	本日におきまして応援Bの飛来物防護ネットの杭の設計について、資料について御説明差し上げたいと思います。
0:01:47	以上です。
0:01:52	規制庁の武田です。ありがとうございます。
0:01:56	それではですね早速資料の確認のほうに進んでいきたいと思うんですけど。
0:02:03	一応規制庁側がですね、先日資料を準備してから確認を取りしておりますので内容自体は発行しているんですけど、もし追加で説明する内容がありましたら、日本原燃のほうから説明をお願いいたします。
0:02:23	なので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:24	現在イナヅマです。ただ当直的な、ちょっとそこを説明させていただきたいと思います。
0:02:31	今回の資料につきましては、供養題材にまず丁寧にその設計の中身は着目すべき部材ば指標等について整理するとしてございますので4ページのところなんですけれども、
0:02:44	こちらのほうで我々として、結局として、今回の杭の設計、4Bとネットをネットの設計について証書しよう。
0:02:55	解析に用いると考えるのは、右側の設計モデルになってございます。それに対して、その妥当性を確認済み詳細モデルというのをここで記載しているんですけど、この部分、ちょっとまだ我々として、説明がもう少し必要なと考えてございますが、こちらについては、もう少し
0:03:14	これに記載できるようにしていきたいというふうに考えてございます。
0:03:19	あと主要についてはいろいろあるんですけども1一点鎖線と工期がありましたけど耐えれたと訂正させていただきますと、9ページを開いていただきたいと思います。
0:03:28	やっぱり参考にですね、4B防護ネットの全体の設計フローを記載していて、ここに国の部分をピンクの桃色の枠で囲ってございますが、一つ目の矢羽の部分で波線部分。
0:03:45	その部署でも数のうち、破線の部門及び1ページの模式図とございましたが世界モチベーションの模式図は資料作成段階で削除しましたので、こちらはございませんので、文章としては、及び／すいません。
0:04:01	そちらを呼び込むのがですね、実際は2ページのほうを読み込んでいます形になってございますので、下線の部分というのが、本資料の2ページに該当するというのをこの部分については修正させていただきたいと考えてございます。
0:04:18	県下の補足的な説明は以上でございます。
0:04:25	規制庁の武田です。ありがとうございます。
0:04:29	4ページの修正というのはこの表自体がもうちょっと詳細になるというイメージでしょうか。
0:04:38	日本原燃られます。この表そのものというよりは、そもそも詳細モデルというものと設計モデルというものをどういう形で原燃として考えているんだというところ前段の部分でそれぞれどういう形でどうい
0:04:54	適で使えますというところをしっかりと説明したいと、そういう意味で話したところでございます。表の中身自体は変えず、その詳細の説明は後段で示したいというふうに考えてございます。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:08	はい、そのタケダです。わかりました。
0:05:11	ただ、
0:05:13	それではですね、規制庁側のほうから資料の頭のほうから順番に確認をしていきたいと思います。
0:05:22	美浜 1 ページ目からですね等確認を進めていきたいと思います。
0:05:29	規制庁の武田です。
0:05:32	まず 1 ページ目なんですけれど、まずこのページ唐突にですねこの設計についてということで説明がいきなり各論から入っているところではあるんですけれど。
0:05:47	まずこの資料の目的が何かというですね、ところではあるんですけれど。
0:06:00	どこの資料っていうのは、的モデルの妥当性を説明するためにどういった検討を行う必要があるのか、それを杭を例にしてまとめていただいたものだというふうな認識であるんですけれど、そういう認識でそこは間違いないでしょうか。
0:06:19	日本原燃のイナヅマです。はい。今お話いただいた認識の通りでございます、所通りその部分の説明 1 ページ一方と記載すべきかと思えますけど、多分が抜けていたというところがございます。以上です。
0:06:31	はい規制庁武田です。わかりました。そういったですね目標目的というか、達成目標のようなものは述べていただいたほうがよろしいと思いますのでは対応をお願いいたします。
0:06:44	日本原燃イナヅマです。はい、かしこまりました。
0:06:48	規制庁タケダですか。規制庁側から 1 ページ目についてありましたらお願いいたします。
0:07:02	特にないですね。
0:07:05	規制庁タケダですとそれでは 2 ページ目。
0:07:08	次に進めさせていただきます。
0:07:12	2 ページ目ですが、これの設計のモードでということで示していただいているんですけれど。
0:07:21	まずこの図の見方なんですけれど。
0:07:25	①を起点に②から 5 まで矢印が伸ばされていっているんですけれど。
0:07:31	ここでは丸一での全応力解析有効応力解析駅のアウトプットっていうものがそれぞれ 2 から 5 のインプットになっているものという理解なんですけれども、そういうイメージしているということでよろしいですか。
0:07:46	はい。
0:07:47	日本原電イナヅマリスクはそんなことをイメージして作成してございます。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:54	はい規制庁武田です。わかりました。0 ですねそのときに、赤文字で知れる記されている層せん断力加速度a改良地盤の変形というですかね。
0:08:07	この三つがインプットになっている情報か。
0:08:12	と思うんですけど項目としては紙つつうですべてという理解でいいですか。
0:08:22	経験的にわかった。
0:08:26	当大成建設高橋です。補足で説明します。今、この赤文字で書かれている項目だけで、これがすべてどう考えていただいて結構です。よろしくお願いします。以上です。
0:08:42	規制庁だけです。はい、わかりました。
0:08:46	原燃側も同じ回答でよろしいでしょうか。今発話されようとしたと思うんですけど。
0:08:53	日本原燃佐藤です。これは杭の設計の際にはということで、ちょっと検定します。
0:09:03	例えばフード
0:09:09	ブルーアースの強化の際には、これに加えて、
0:09:13	ひずみというものが出てくる。
0:09:17	という経験するとかブレスの設計の際にはそういうふうにあって、ひずみの着目するという必要が出て参ります。
0:09:28	大成建設さん、それでよろしいでしょうか。
0:09:34	はい。大成建設タカハシです。今佐藤部長のおっしゃった通りです。ただグループといっても全く後続ブレースというふうにとちょっと補足させていただきます。以上です。
0:09:53	規制庁の武田です。わかりました。今回は国の設計に焦点を置いた模式図ということで1回はしました。それってその付近ですね、
0:10:07	①Pから出ている。
0:10:12	アウトプットインプットっていうのがそれぞれこのポイントでのアウトプットとか、どこのポイントに落とされるのかっていうのが三町明確になっていないところがあると思っております、
0:10:26	ちょっと例を挙げますと、
0:10:29	例えば①から③に伸びている右下に向かっている矢印なんですけれど。
0:10:37	ここで①の応答値過去加速度を地震荷重気相慣性力として③の基礎、
0:10:44	前の整定による応力と、
0:10:48	いうふうに記載はあるんですけど。
0:10:50	ここで言っている①の加速度というのはどこの加速度を示しているでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:00	大成建設タカハシです。①の基礎上側での基礎上側位置での来応答加速度を示しています。使用しております。以上です。
0:11:18	はい、規制庁の武田です。はいと原価アメリカ発ありますか。
0:11:26	日本原燃佐藤です。やっぱり漸移と串団子が立っている水色の部分の宇和ばってということで、
0:11:40	確認していただければと思います。以上です。
0:11:45	はい、規制庁のタケダですと説明は理解しました。ただ、この図だけではですね、そこまで読み取れないところがありますので、
0:11:56	あとこの部分のアウトプットがどこにインプットされるのか、そういったところをですね、もうちょっと丁寧に書いていただきたいと思いますよろしくお願いします。
0:12:08	日本原燃勝又です。はい。そういった点踏まえて、他の指標ですね。そうせん弾力ですとか、変形量を他ほかの部分につきましても、今いただいたコメントを踏まえまして、都の部分。
0:12:23	もアウトプットどこに入力するといったところで丁寧に記載したいと思います。以上です。
0:12:31	規制庁の武田です。はい、わかりました。お願いいたします。
0:12:36	2 ページ目について規制庁が行うその確認あればお願いいたします。
0:12:44	規制庁ハバサキです。案を今の点、詳細な記載のほうですね、この資料に盛り込むのか或いは補足説明のほうでもっと詳しい説明を準備されるのかなそれはちょっと事業者の方で今後考えてもらいたいと思いますけれども、
0:12:59	先ほど例えば①の右下に7名の方向の加速度は気相へっていう話があったんですけども、鉛直に関してはあれですか
0:13:13	以前の説明ですとや明記屋根の中央も鉛直振動を使ってフレームの解析をして、その軸力を基礎に伝えて、ぜひその基礎反力の軸力が杭のほうに軸力として入るということ。
0:13:32	そういう理解でいいですかそうするとちょっと、やはり同じ加速度でも形は加速度から力に変わるんですけども、評価その加速度が1-1が違うというふうに理解しておけばいいんでしょうか。ちょっとそこら辺、正確に説明いただきたいんですがいかがでしょうか。
0:13:53	大成建設タカハシです該当します。
0:13:57	今ハバサキさんのおっしゃったような考え方は正しいです。まず一つ目として、図中の①から②に矢印のところで、そうせん弾力と加速度のインプットを回る。
0:14:14	2番のほうに入力します。この際に、加速度というのは、屋根面における加速度です屋根の振動、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:26	深度に角度に合わせて、鉛直震度という形で、②番のほうでまず考慮します。ただし、この②番のモデルというのは、基礎上側より上の部分のモデルしか考慮しておりません。
0:14:42	いわゆる、機器等の部分、ここの部分のモデルはこの②番のモデルの中には入っておりません。
0:14:49	③番の基礎がFEM解析の場合は、機器等の構造評価というか、応力評価になりますので、基礎に生じる慣性力もこの時点で考慮してあげなければいけない、そう考えております。
0:15:06	で、①番から③番への矢印、こちらのほうで考慮している加速度というのは、機器等の慣性力を求めるための加速度ですので、この時点では基礎幅
0:15:22	いや、串団子のつけ根の部分のここの加速度を用いて人の慣性力、そういう形にとっております。なので、
0:15:34	②番から③番へ戻ってくるところは、屋根面の家族どうもとにした軸力、それが柱の脚部に考慮される荷重として考慮される。
0:15:48	というような形をとりつつ、①番から③番の斜め方向の矢印の加速度で基礎への機等で発生する慣性力も合わせて、③の解析では考慮すると、そういう形をとっております。
0:16:06	以上です。
0:16:08	規制庁浜崎です。今の説明に関しましてはちょっともう1回確認ですが、人の慣性力を考慮する上の鉛直の加速度に関しては基礎上の鉛直加速度。
0:16:22	を使っていると。だから配当フレームからの軸力との間、 $\angle A$ とか速度とは違うものは考慮していると、そういう設計をしているという理解でよろしいですか。
0:16:36	はい、大成建設タカハシです。その理解であっております。以上ですはい規制庁浜崎です。細かい話ですけども、だからこの資料にどこまで反映するかつてのは今後検討してもらいたいんですけども、そういった詳細な説明をですねしてもらいたいと思いますんで。
0:16:53	というのは今回のモデルのある意味屋根の中央の上限の振動からの実力を使うっていうのは一つの保守性に繋がると思うんですけども、そういった点丁寧な説明をしてもらいたいというふうに思います。
0:17:09	あと続けてなんですけれども、一番上の右側の行く矢印①から右側の地盤の変形のところでですけどもこれ改良地盤の変形っていうのはどこの改良地盤改良地盤のどこのっていうのは、今説明できますか。
0:17:29	大成建設タカハシです。今ですね、改良地盤、日英と左上のこのモデル図で見たときの来い紺色のところのこの地盤の変形量を

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:45	この⑤番のところに強制変位として与えております。さらに具体的に言いますと、今この改良地盤っていうのは、ほぼすべて同一方向を水平方向にほぼ同一の変形をしております。
0:18:02	なので、水平、今、
0:18:05	設定がですね、水平 2。
0:18:11	御徹底しかないので、その後接点の今平均値を水平変位っていう形で考慮して、⑤番の強制変位として与えております。
0:18:25	はい。規制庁合わせケースAと説明理解しました。2 ページ目、2 ページについては大きな考え方を示すので。この程度でいいかもしれませんが先ほど申しましたように、実際の設計ではですねどういった点、どういう変形を例えば今のところだと等考慮してますよということの説明
0:18:43	補足説明なりにしっかりと説明をしてもらいたいというふうに思います。
0:18:48	よろしいですか。
0:18:50	今、
0:18:51	日本原燃イナヅマです。はい。ただいまいただきました御指摘特に能照査や考え方については、補足説明資料等でしっかり定義説明釣りを記載のほうしたいと思っております。以上です。
0:19:08	はい。規制庁ハバサキからは以上です。
0:19:14	規制庁タケダです。その他形状がわかりましたらお願いしますし、規制庁カミデですと今までやりとりして質問なんですけど、⑤番の話ですよ福井の正解析できそうか。
0:19:31	と改良地盤体のところを設定ってあったんですという説明だったんですけど。
0:19:38	そういったの水源方向の
0:19:41	別添の話のこの鉛直側の設定の話なのか漁港からなかったんですけど、説明いただけますか。
0:19:48	はい、大成建設タカハシです。当御接点で 1 言いましたのは、水平方向の剛性点です。それを各高さ方向にですね、⑤番のこのポンチ絵のような形で、各ご接点を平均化したものを
0:20:07	原因として、高さ方向に分布させて発生応力を求めるようにしております。以上です。
0:20:18	はい、規制庁感じです。高さ方向は高さ方向もメッシュの価格設定とか、
0:20:27	あるので。
0:20:29	名称の切った単発ストアに合わせて閉弁した専用、
0:20:39	⑤番のモデルというか多く式だと思いますけど、その杭を高さ方向に分布させて入れているっていう理解でいいですかね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:50	大成建設タカハシです。その理解で合っております。
0:20:54	以上です。
0:20:57	はい、規制庁過密試みました。
0:21:00	後ですねその⑤番から矢印が出て黄色い失格。
0:21:08	曲げせん断っていうのは、これ
0:21:12	縦棒に幾つか黄色いうのをバーッとそれぞれ発注が出力されてるっていうことだ。
0:21:21	言って、
0:21:22	どう組み合わせるかっていうのは、13 ページですかね。ここに
0:21:30	それぞれ出てきたものを足し合わせて評価するんだっていうのはあるんですけど。
0:21:37	ここの 13 ページの洗缶力、
0:21:42	にてっている。
0:21:43	括弧三番類と水平力というものがですね。
0:21:48	具体的には 11 ページのところにあるんですけど。
0:21:52	この(3)番の、そういったものの水平力っていうのが、
0:21:57	この 2 ページのフローだとどこに当てはまるところが有効で説明いただけます。
0:22:05	大成建設タカハシです。この杭等の水平力は③番、2 ページのフロー模式図の中の真ん中の下の真ん中辺りに書いてある③番、ここの基礎のFEM解析の結果を用いております。
0:22:37	横地絡とかの解析その他これなんて、この規制庁上出です。おそらく説明上そうなんだとは思いつつ、
0:22:49	11 ページで、そういう定量ポンチ絵と、2 ページの
0:22:55	③番のところはもうモデルが違うので、
0:23:01	どういう関係なのかって思っていたんですけど、11 ページの確定 3 番の記載した意図みたいなものをもう少し説明いただけますか。
0:23:10	ごめんなさい。大成建設タカハシです。11 ページのこのモデルというのは、あくまでモデル図で 2 ページに書いてあった、③番のモデルと同じもの一致するものです。泊まるえと 2 ページのほうの③番は、
0:23:29	解析結果のコンター図を示してしまいましたので、ちょっと 11 ページと見た目色合いとかが違いますけれども、同じモデルです。
0:23:42	はい、規制庁カミデです。今後この資料どこまで定年作るかっていうのはあるんですけど
0:23:51	前で説明していることと後で説明していることの繋がりがですね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:57	今の言葉もそうなんですけど、
0:24:03	は私なんか見ると今説明いただいたようなことはイメージはできますけど、会合資料とかする上ではその辺の繋がりがわかるように、資料作ってもらうっていうことも大事だと思いますので伝統による
0:24:19	作業いただければと思います。私からは以上です。
0:24:24	今回のイナヅマです。はい、今の提案の踏まえまして、資料全体で絵と整合するようなの使い方ですとか、用語の使い方廃止しても、しっかり確認した上で資料があるようにしたいと挙げてございます。以上です。
0:24:40	はい。
0:24:40	はい。
0:24:41	今回のご指摘で言いますと、あと2ページの③のところ、また11ページの図、これが違っているあるモデルを使っているように考えられるというところがございましたので、ここについては、同じようなモデルであるということがわかるような形で、
0:24:59	その修正用の修正を行いたいと考えてございます。以上です。
0:25:09	既設のキシノです。
0:25:12	あと、2ページにまた戻りますけれども、
0:25:15	はい。
0:25:16	各インプットとアウトプットの関係とかについては詳細に別途補足とかで説明するか先ほどハバサキだったんでそのような形で説明いただければと思うんですが、2ページの左上①の図からですね色矢印の西右下に延びていて、
0:25:32	それぞれ赤文字で強調されている項目があるんですけど。
0:25:38	このアコムと協調していること僕てる今回の説明のロジックということで、どういう位置付けになるんですか。これ以降のその設置詰めロジックの中のどこに繋がっていくのかっていうのを教えていただきますでしょうか。
0:25:55	はい、原燃サトウです。
0:25:57	今回部材の評価なり、していく上で、まず
0:26:05	解析モデルから出てくるそのアウトプットのうち、
0:26:09	窃盗の実際使われるる部材の
0:26:15	評価に使われるというものは赤文字という形で示さしていただいておりますので、この赤のチームは、今後ですね、いろんな来浄化の状態。
0:26:32	見比べるときの指標という形で使っていくことになりますので、この指標自体が大きくなったり小さくなったりすることで、
0:26:49	最終的な部材の応力が比例的に小さくなる大きくなるということに結びついておりますので、そういう意味では、この赤文字を指標にした

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:05	部材の評価をやっていきたいというふうな位置付けで設定させていただいております。以上です。
0:27:14	1000兆のキシノです。今月に強調してるものが液状化の状態を比較する上で用いる指標っていうふうに今説明があったんですけども、ちょっと意味するところが、
0:27:28	徐々に良く理解できないんですが、もう少し具体的に掘り下げて説明していただけますか。
0:27:39	へえ。日本原燃佐藤です。
0:27:44	例えば
0:27:48	液状化の状態が進むと、①番の図から国のほうへ出ている⑤、⑤番の杭の静解析出ていくあの變形、こういうものが大きくなって杭の応力が大きくなると。
0:28:07	いう関係がございますので、そういう意味では、液状化の
0:28:13	度合いが変わっていくと、この變形量も変わっていくだろうという。
0:28:21	想定のもと、
0:28:25	そういった
0:28:27	状態の變化のValue市場に基づいて見比べていくかと言ったときに使うものと、いうふうに考えております。以上です。
0:28:42	規制庁のキシノです。すいませんますますわかりわからなくなっちゃったんですけど、この資料を一連の予備通して私は理解したところでは、2ページで、赤字で強調されている項目っていうのは、ちょっと飛びますが、6ページにステップ1の表ですね。
0:29:01	に表のほうに変位とか加速度せん弾力という項目があって、これで検討すごとのアウトと比較しますよっていうような失敗表として上げていくんですけど。
0:29:16	こういった、このステップ1で評価する項目として2ページにアコムで強調していると、そういう理解でよろしいのでしょうか。
0:29:28	99 電さんと
0:29:30	すいません九州電力の赤司でございます。横から割って入って申し訳ございません。
0:29:35	ご理解いただいているのは期首さんが受け取られてる通りだと思いますけどもこの液晶に限らず、今後、モデルの工事性を説明していく上で、例えば所作詳細モデルというふうに先ほどページが記載してましたけれどもそれと比べ、
0:29:55	大きいのか小さいのか、或いは1条化が効くか効かないのかを見ていく上で最終的な国なり、指定構造物等の大小を見ていくのではなく、号棟の大小にギガ影響与えるノートパソコンをもとになるところをたどっていく。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:14	今後の平均であったりか育てたり3せん断力の地震力ポイントとかが大きくなると、応答が大きくなるというのが見えるので、じゃあ、例えば液状化が進展したが、本当に大きくなるのっていうことであったりこういうモデルの保守性を持たせると、本当に
0:30:31	大きくなるのっていうのを見ていくには、この変位、加速度せん断力等を見ておけば、ちゃんとそんなるよねっていうことが確認できるということなので、後の窒素のいろんなモデルの妥当性なんかを見ていく上で、基本となるのはここ
0:30:50	インプットアウトプットなんですよっていうことを時物体たくって先ほどの2ページでは赤文字にさせていただいてそれが例えばこのトップページ目でその資料に基づいて確認してるということであって当時しているというものでございます。以上でございます。
0:31:08	規制庁のキシノです。はい。わかりました。おそらくそういう位置付けで、2ページを強調されてるんだらうなと解釈をしているんですけども、そういう位置付けとして、このこの赤文字のものが指標として使えるんだよということで、それが例えば6ページなどで、
0:31:28	設計モデルと詳細モデルとの比較において設計モデルの妥当性を検証する指標として決得使います。或いは液状化の程度を表現するものとして指標として使いますというような位置付けであることをですね。
0:31:44	この2ページは別のページは適当でよろしいことですか。レックス説明していく必要があるかと思えます。これはあの会合なり前回までのヒアリングなりで、洞道
0:31:59	やっぱり評価部位評価項目に着目するのかといった説明に繋がるかと思えますので、今といった説明、この赤文字の指標の位置付けなど課の説明がなかったわけですね、唐突に唐突にというか協調だけされているということでちょっと意図が伝わりにくいかと思えますので、
0:32:18	そこら辺の説明を
0:32:20	していただきたいと思えます。
0:32:23	よろしいでしょうか。
0:32:25	という面サトウです。
0:32:26	エターナの評価項目としてこういった指標を用いているその理由についてですね、ちょっとこの2ページに来公務伝えるのであれば考えますが、もう少し丁寧に書こうと持とうちよっともう1ページ出してですね。
0:32:44	どういった仕様をどういう理由で選定してそれがどういう意味を持つのかっていったところをちゃんと説明するような資料を説明を付け加えさせていただきたいと思えます。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:02	周長のキシノです。はい。説明の仕方は考えていただければいいと思いますけれども、先ほど赤松さんの説明にもあったように、その設計モデルの妥当性を説明する、或いはその液状化の底部証言する指標として
0:33:21	このインプットをやはりこの赤文字にたどり着いたということですので、その辺りもわかるような説明が必要かとは思いますが。ただそれはこの2ページかっ食うというよりは、補足説明資料等で詳細説明したとって、
0:33:38	或いはこの資料の参考資料などに入れていただいでですね、2ページでは簡潔にこの赤文字の指標の位置付け、
0:33:46	各今後どっかこれ以降でどのように使われるのかといったところの説明していただければいいかと思しますので、説明の仕方とあわせてまず決起さらに追加の検討をお願いいたします。
0:34:01	日本原燃佐藤です。はい。2ページについては仕様についての
0:34:07	とらえ方を少し簡単に書いてそれをにたどり着いたっていかそういう設定をしたかについては、少し詳しく補足説明資料のほうにまとめさせていただきたいと思えます。以上です。
0:34:23	規制庁の木です。よろしくお願ひします。次回に関して私から技術
0:34:29	規制庁上出です。今のところなんですけど、2ページのほうも治療し競合かどういう位置付けかかっていうのは、今の資料だと3ページの
0:34:43	一つ目の四角の一つ目の矢羽のところにもう
0:34:48	ある程度事業者の思いとしては入ってるんじゃないかと思うんですけど違ひいますかね。
0:35:02	九州電力の赤司でございます。今カミデさんおっしゃった通りでございます、そうすいませんそもそもこの資料構成であった並べ方全体的なところをちょっと指示、e或いはちょっとコメントしてるのは私Eでございます、
0:35:19	先ほど2ページで赤文字で強調するとともに名簿をつけところはこうなんですよというアウトラインをちょっとこの3ページ目の真ん中辺りでやればだったというものです。ただ先ほど来、議論になってる通りなる自分にそれが表現ご理解いただければいい説明できるかというところはございますので、
0:35:39	今は詳細設計資料につけた方も含めて例を少しちょっと整えたいと思えます。以上でございます。
0:35:48	はい、規制庁紙を借りましては丁寧に説明するところとアウトラインとしてわかりやすくっていうところはどうか検討いただければと思えます。読んでて思ったのは、
0:36:00	3ページ目の矢羽のところの情報が法の応答とか地盤の変形って言葉がそのまま2ページに書いてないのでわかりにくいというところがあると思つて

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:15	キーワードとなる言葉同じ言葉でこうつなげていったりしてもらえると考えることも流れがこちらにも伝わるのかなと思いましたのでいずれにしても、検討いただければと思います。
0:36:33	日本原燃佐藤です。はい、3 ページ目二つ目の矢羽の中にジョグがこの第地盤の変形、これが主仕様となっていると。
0:36:42	そういった
0:36:46	うん。御苦労をいつ、あと使っている。言葉の意味がバラバラにならないように、ちょっと注意して、資料のほうを修正していきたいと思います。以上です。
0:37:08	規制庁の武田です。計その他 2 ページ目、規制庁側からございますでしょうか。
0:37:18	よろしければ、3 ページ目のいいですかこういう日数のさせていただきます。
0:37:26	3 ページ目なんですけれど、ここでもですね総合部会の設計について保守性を担保するための条件ということで、
0:37:37	中身に入っているわけなんですけれど、
0:37:42	まずこの中に入ってくる前に設計モデル。
0:37:49	一角詳細モデルのですね、どういった仮設でそれらを設定しているのかという全体的な状況の仮説みたいなものを述べていただきたいと思っているんですけれど。
0:38:01	先ほど冒頭の説明で初代モデル設計モデルの概要を、
0:38:09	ポートに述べるということをおっしゃっていたんですけれど、そういった
0:38:14	概要っていうのが、このページの前に来るというふうなイメージでよろしいんでしょうか。
0:38:21	日本原燃イナヅマです。はい。冒頭でお話した通り、高の防ぐスタートで申し訳ないんですけれど、我々が企業者として波及的影響の評価に用いる設計モデルとはどういうものか、またその確認のために用いる詳細モデルと
0:38:39	M&Mの過程の冒頭にこういったモデルを用いましてろうあしっかりしっかり説明させていただきたいと考えてございます。以上です。
0:38:51	はい、規制庁の武田です。わかりました。いやそういった冒頭に説明があってコインの設計についての説明が述べられていますいざ順序に述べられていくということで理解はしました。
0:39:04	お作りてですね、こんな 3 ページ目の中身についての(2)なんですけれど。
0:39:11	今設計の二つ目の四角のどこですかね、補修性を担保するための条件として、地盤の改良体への拘束効果の低下というふうに挙げられているんですけれど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:26	これだけでいいのでしょうかというのがありまして、
0:39:31	超えて抽出したのは、
0:39:33	どういった整理を行ってこの結論に行き着いたのか、ハバサキほかに項目がないのかということを説明いただけるでしょうか。
0:39:46	はい、日本原燃佐藤です。
0:39:51	まずこの施設の状態を模式図で3ページに示しておりますが、
0:40:00	当揺れ自体は岩盤を伝わって施設の足元に入ってきて、
0:40:09	入れるという状態を考えたときに、
0:40:16	その施設の周辺、
0:40:18	の状態。
0:40:19	言ったものがまず大きく、この施設の入れ
0:40:24	海に対して影響を与えるだろうと。
0:40:29	いうふうに考えましたので、そういう意味で、周辺の拘束効果、
0:40:36	というものが変わると等々が変動するだろうと。
0:40:42	いう想定のもと、
0:40:47	このような設定を着着目点を考えております。他の要因。
0:40:58	申しましては、
0:41:02	もうですね。
0:41:05	すみません。
0:41:08	一番大きい。その影響として、周辺地盤の拘束効果があるというところで設定させていただいておりますので、
0:41:23	ですから、これ以外全く振動に影響を与えるような
0:41:28	パラメーターが
0:41:31	何かっていう、ちょっと整理はいま1度したいと思いますが、
0:41:38	この
0:41:40	要因が大きいところということで、前させていただいております。以上です。
0:41:48	規制庁の武田です。購入して一番大きな影響与える要因として挙げてそこから込め改良建設とか
0:41:57	検証していけるということで以下融和しました。どういった整理をする。
0:42:05	すみません。規制庁カミデです
0:42:08	今御説明で一番大きなところって言われてたんですけど資料のまとめ方として、2ページで全体整理した上で、ここがキーポイントなんですっていうので。口側を顔上げられていて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:25	確かにそのキーポイントを一つに死亡れると話が進めやすいしわかりやすいので、一つに集約できるようにそうではあるんですけど、そこを可に本当にすべて
0:42:39	集約できるかっていうとおそらくそんなおっ拘束効果、
0:42:45	言葉では無理なんじゃないかなと思っていて、上部学校の用務だとか、上部学校のどんなをモデル化とかあと杭の後は10名地盤の接触効果と
0:43:03	4ページで詳細と設計モデルと比較がありますけど、ここで差分が出てるところとかですね、これは
0:43:15	そういう項目も関係してくるのかなっていう感じがしますので、あとで何を説明するかっていうところをちゃんと流れを見てみた上でですね、3ページのここで
0:43:33	ここがキーポイントなんですっていうところを、地盤の拘束効果だけですか。他にも幾つか挙げて済む網羅的に示せるのかっていうところはもう少し考えていただければと思います。
0:43:48	層厚海外にもあるんだけど、とりあえず代表でっていうのをちょっと資料の説明の流れとしては美しくないかと思いますので検討ください。
0:44:01	日本原燃佐藤です。
0:44:04	はい。そういう意味では
0:44:07	おっしゃる通り、杭の有無とかといったところも、
0:44:17	そうですね地盤の剛性
0:44:22	何か変わる要因でもありますので、ちょっとそういう視点に立った上でも、この乙武効果。
0:44:32	着目すればいいんだというようなところを一つ
0:44:38	3ページの前にそのモデルの少し説明をする際にですね、そのところで整理して述べさせていただきたいと思います。
0:44:48	以上です。
0:44:52	規制庁カミデです。資料の直し方はいろいろあると思っていてここで言ってる地盤改良体の拘束効果に関わるいい言葉が見つければ、多分それに置き換えるだけでも、話を進んでしまいますし、
0:45:10	いく通しても幾つか
0:45:12	出さないと、後ろの説明繋がらないのでっていうのであれば、そういう説明をしてもらうということだと思いますけど全体の
0:45:21	構成をつくった上で、
0:45:24	検討いただければと思いますので、よろしくお願いします。
0:45:29	日本原燃佐藤です。すいません。1点ちょっと関連損のベント中で拘束効果に関わる表現があるのであればというようなご発言があったかと思うんですが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:45	うん。
0:45:48	その拘束効果という、その日ん中表現というか、減少。
0:45:55	これが正しくないんじゃないかというそういうとらえ方をちよつとな義務って いうかそういうのをもちだということでしょうか。
0:46:07	以上です。
0:46:10	規制庁カミデですか。今この資料だと、2 ページで今全体を整理しました。
0:46:18	いうところでこれを踏まえると、はい地盤改良体の拘束低下っていうのがキー ポイントでとにかくここを
0:46:28	地域として、
0:46:30	説明を展開していけばいいんだと。
0:46:34	というような説明になってると思うんですけど。
0:46:38	2 ページにあるような内容だと地盤の拘束
0:46:43	オオオカだけではないと思うんですね。
0:46:46	それに関わる例えばさっきの杭の有無とかも含んで杭の有無もそうだし、周辺 の地中埋設物の有無とかも含めた全体的なキーワードっていうのが導き出さ せれば、そういうとこに来変えれば済むと思う。
0:47:06	まずし、そういうところが
0:47:11	キーワードとして一つに絞れないなどで絞れないのであれば、改良体の構想 をワイヤー故意の含めるとかいった形で、並べるしかないのかなと思いますけ どそういう意図で
0:47:26	話をしていますけど、伝わってますでしょうか。
0:47:33	日本原燃佐藤です。はい。
0:47:37	わかりました
0:47:41	ちょっとあのその影響を与える要因についての整理なり、
0:47:51	表現の仕方なりについても、ここではちょっともう少しわかりやすいようにつて いうか、
0:47:59	これに着目するんだったらその理由についてのしっかり述べて、
0:48:02	上で3 ページに展開するんじゃないかと考えます。はい。以上です。
0:48:16	規制庁長官です
0:48:18	好きやり方としては、34 ページ以降の主修正も今後はいると思うんで、そうい うものを作りながらですね、3 ページでどこまで説明をしたら損全体像が
0:48:34	簡潔に説明できるかというところを見てもらえればと思っておりますのでよろしくお 願いします。
0:48:45	日本原燃佐藤です。承知いたしました。
0:48:55	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:56	規制庁の武田です。
0:48:58	おっかけおなまカミデからの各人ともかく内容ではあるんですけど、現状会議地盤改良体への拘束効果として、行き渡りものとして括弧AからCが挙げられているんですけど。
0:49:14	改良体の拘束効果という意味では行為をモデル化するかどうかって言うのも改良体の拘束効果に影響が与えるものだと思っていますし、それは以前にも、事業者の説明はあったかと思いますので、
0:49:30	電車もこの辺の整理もちょっと必要だと思いますので、改めて検討はお願いしたいと思いますので、お願いいたします。
0:49:41	はい。
0:49:43	日本原燃佐藤です。はい。
0:49:50	ここに含めてちょっと情報がこの話もあるかと思っていますんでそういうのを入れた上で整理いたします。はい。以上です。
0:50:01	規制庁の武田です。その他規制庁側から3ページ目確認ございましたらお願いいたします。
0:50:12	規制と敦賀です。
0:50:15	三つ目の矢羽のところでは各周辺の地盤の状況を踏まえて書いてあるところ(エ)埋設構造物による拘束効果があるんですけども、この埋設構造物についてはどう同等MMR配布という理解でよろしいんでしょうか。
0:50:40	大成建設タカハシです。ここで言ってる、埋設構造物というのは同等流動化処理どう、この二つの御党意味しております。以上です。
0:50:54	規制庁津金です。MMRは考慮しなくていいんでしょうか。
0:50:59	補足効果に関しては、大成建設タカハシです。今口頭効果というのはですね、は先に見ますと、MMRは何ていいの、等考慮しておりませんというのは、
0:51:16	今ロック周辺からの高度化効果のイメージというのが、この図で言いますところの水色とMMRのはいとその部分のロッキング傾動のようなものを
0:51:36	抑える効果、そういうふうにご考慮しておりますので、その周辺のものに対してのみ、ここでは対象系統、三つ目の矢羽の括弧Aのところでは対象としているのは、
0:51:51	堂々と流動化処理という、そういうふうにご考慮しております。以上です。
0:51:58	規制庁疲れ提出3ページの図がポンチ絵経営真横から見ているなんての。
0:52:05	飛来物防護ネットの学校の基礎、
0:52:08	ほかには得意の部分とMMR接してないっていう理解なんでしょうか。
0:52:20	実機いろんな大成建設タカハシです。テーマで今のご質問の意味がよくわからなかったんで、もう一度お願いできますでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:31	はい規制庁津金です。これ今様から見た図なんですけれども、例えば上から見たときに影響MMRと
0:52:41	飛来物防護ネットの架構の基礎となる物品の部分が、
0:52:46	その直接
0:52:47	横横にくっついてるわけじゃなくて間に何か土のようなものは寒気流動化処理の各種の仕組みを挟んで設置、接続してるかかっついてるということになるんでしょうか。
0:52:59	大成建設タカハシです。当防護ネット
0:53:04	その基礎のA棟横速報であれば、途中に埋戻度が入りますので、直接くっついてるっていう形ではございません。ただ、さらに深い部分MMRと地盤改良体の範囲であれば、
0:53:22	MMRの側面のもともとは埋戻どろだつたところを地盤改良しておりますので、地盤改良体とMMR、ここのところはくっついてるという認識でございます。
0:53:38	以上です。
0:53:40	規制庁使う定数詰め理解しました。私から以上です。
0:53:50	規制庁タケダです。その他 3 ページ目は、確認事項ございますでしょうか。
0:54:00	規制庁紙よろしいですか細かいことですが、
0:54:05	括弧Bか欲しいそれぞれ埋戻どろ持って書いてますけど、
0:54:13	理解としては、表層地盤っていう理解でいいんですよね。両完売より上の部分と思っておけばいいですか。
0:54:24	日本原燃イナヅマですはいその通りでございまして、管理上の部分を
0:54:29	液状化もしくは構成と変化を考慮して検討を行うところを記載した通りでございまして。以上です。
0:54:39	はい、規制庁かミスを借りまして、資料直す際は、
0:54:45	もう少し正確に書いていただいたらいいかなと思いますのでよろしくお願ひします。
0:54:55	規制庁の武田です。それでは 4 ページ目、(2)に進みます。
0:55:03	ここで、このページでは(エ)の埋設構造物による拘束効果をなくす、これによる過去 20 広報我慢述べられるページ。
0:55:16	ということなんですけれど。
0:55:19	実態としては、この詳細モデルと設計モデルの評価ぼんと置かれてるだけでとったり、何を括弧にするのかどういった方法で過去にするのかとか、そういった説明になっていないと思います。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:34	このページっていうのはそういった内容を記載するページだと思うんですけど、ちょっと修正はいただきたいと思いますが、この問題意識は伝わりましたでしょうか。
0:55:51	はい、日本原燃のイナヅマですと、こちらにつきましても冒頭申し上げますといったおっしゃる通り額だけが持っているというところがございますので(エ)で記載しましたPOS9 日というところに対しまして、どのようなことを
0:56:06	買付け解析確認することによって、その国家っていうのがあるかないかというところを確認したいという意図で記載してございますのでその旨が書いてないという御指摘かと思っておりますので、こちらの方。
0:56:22	記載するようにしたいと思っております。以上です。
0:56:29	はい、規制庁の武田です。ご認識の通りですので、ご多用の方をお願いいたします。
0:56:37	それで等、この表に書かれている内容で教えていただきたいんですけど、この表の外なんですけど、※書きで書いているところで頂部構造のモデル化の際に、TMSL55.0 から 55.3 メーター5 張りを
0:56:55	本当にプラスすることで、詳細なモデルと整合させるっていうことなんですけれど。
0:57:02	この 5 ぱりっていうのは、詳細モデルにも購買っていうのはあるんでしょうか。
0:57:09	ただ問題意識としては基礎の変形とかを
0:57:14	設計モデルだけ拘束するようなモデル化をしてしまってるのであれば挙動が詳細モデルと設計モデルで結構変わってしまうんじゃないかというふうに思っているんですけど。
0:57:25	いかがでしょうか。
0:57:28	大成建設、タカハシ率、
0:57:31	筐体モデルのほうはですね、かなりメッシュを細かく切っておりますので、現実に合わせてモデルメッシュええと現実の形状に合わせてメッシュのほうを作成しております。
0:57:48	まず詳細モデルのほうなんですけれども、基礎はBLは 55.3mで、地盤の地表面レベルより 30cm高くなっております。
0:58:02	一方設計モデルのほうなんですけども、名主催図をかなり粗くしております。地表面のレベル 55 メーターで今、
0:58:16	時その言わばもモデル化しております。ただ、人の上回るレベル 50 名、5 メーターでそのまま上部の上部架構のこの失点系モデルをつけますと、再下層の部分の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:34	塗装の高さが長くなってしまいまして、詳細モデルと設計モデルのほうで、上部の共同案まず、固有値が違ってきてしまいます。なので、詳細モデルと設計モデルで上部架構が同じ挙動をするように、
0:58:53	基礎上側レベルから上部のこの失点系が生えているというか、設置されている、そういう形状模擬するために、
0:59:08	設計モデルのほうでは 55 メーターの今のモデルの水色の部分から 30cm 分の情報にげたをはかせたような形で 5 号ばりで接続する、そのような手法をとっております。
0:59:26	以上です。
0:59:31	規制庁の今、メッシュの分割の関係で束をそろえるための工夫だということは議会はできました。
0:59:41	ただ、この勾配を設けることで、なんか共同が変わってしまうということはないでしょう。これが悪いほうに働くことはないのかっていう心配はしているんですけど、それで問題ないのでしょうか。
0:59:57	大成建設タカハシです。まず上部架構の剛性と比べまして、基礎のこの 30cm 地表面から 30cm の高さ分の水平剛性というのは、上部架構に比べまして、非常に高いものになっております。
1:00:17	よって、ばりでモデル化しても、ほぼほぼ同じ結果が得られるそう考えております。以上です。
1:00:31	規制庁の武田です。わかりました。そういった考えのもとで、問題なく設定されているということでしたらそれで理解しました。
1:00:42	私から 4 ページの確認は以上ですが、その他規制庁側からありましたらお願いいたします。
1:00:49	規制庁カミデです。今のところでもう少し質問なんですけど
1:00:55	上部架構の固有値は合わせたいということだったんですけど、今 4 ページの詳細モデルだと TRACE 増悪通行そこブレース要素は梁モデルにくっついてるように見えて、
1:01:11	設計モデルには、それからついてないんですけど、これってどういう位と何ですかね。
1:01:18	大成建設タカハシです。すいませんこれは誤記ですね、両方とも復興特区ブレースの要素を考慮しております。
1:01:31	以上です。
1:01:36	はい、規制庁カミデ素子リングますと、
1:01:41	あとさっき冒頭の
1:01:44	ばりでモデル。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:45	許可っていう話なんですけど、
1:01:51	目的は何かって言うんですね、
1:01:56	3 ページで言うと今、地盤改良体の拘束効果が低下ってなっちゃってるんで、それを目的とすると、確かに
1:02:09	あんまり関係ないんですけど上部構造っていうのは、
1:02:12	ただ本当の目的は、2、
1:02:15	ページとかを見ると、
1:02:17	気相部への応答だとかっていうところがあって、そこが大きくなるようにということをもう目的のうちなんじゃないかと思ってるんです。その声を保守的に設計しましょうっていう持って大原則があるということなんです。
1:02:36	そういう意味だと、設計も手順のその 5 倍モデル部分っていうのは普通に上部構造の要素を伸ばしてしまってもいいんじゃないかとは思ってますけど、何かそうしない理由、
1:02:52	であったり、やっぱりばり側やるのがふさわしいん断定な理由があれば、説明いただきたいんですけど、いかがでしょう。
1:03:04	大成建設タカハシ列え一とですね、まず、我々0 設計思想の中でですね。保守性がまず、
1:03:17	設計地震がですね、過小評価になってはいけないので、保守性を見るっていうふうなことは重要だと考えておりますが、必ずしもすべてに対して保守性を設ける必要があるかって言ったら、必ずしもではないと思ってます。ほぼ同等の評価を得られるので。
1:03:36	あれば、実情に近いものであれば、磁性を設けるっていうふうな方向に向かわずとも、良いのかなと思っています。今ここの 5 倍のところなんですけれども、実際のモデルで考えますと、
1:03:54	55mより上の部分、30cm分って鉄骨ではなくて、RC-コンクリートの平面的に広がる基礎なっております。もしモデル化するのであれば、上部の鉄骨造延ばすというよりも、その基礎、
1:04:12	の° 剛性を実際の剛性に合わせてビームとしてあり材としてモデル化してあげる。それが実情により近い
1:04:27	なんていうのが、モデル化かなと考えます。今回上部の応答と比較して情報の応答を評価するにあたって、上部の剛性と比べて、その 30cm分の基礎の剛性というのは非常に大きい。
1:04:45	数字になっておりますので、今回は防ばりとしてモデル化しました。なので、何点か保守性を設けるっていうのも一つの目的ではあるんですが、今回はばりとしてモデル化したこと、これは妥当な考えであるというふうに考えております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:06	以上です。
1:05:11	はい、規制庁カミデですが、この 30cm部分をどうモデル化するっていうことがそこまで解析上大きな問題だと私も思っていなくて、またやはり説明資料という意味では
1:05:28	なんでこれなんで 5 倍なんですかっていう時にいや実は目的が、資料も書いてある目的にももう一つあって、ある程度実情に即した等にしないといけないっていうのは当然あるんだと思うんですけど。
1:05:44	そういうところも 3 ページになり、
1:05:48	もしくは 1 ページ、3 ページなんですかね
1:05:53	あらましをちゃんと説明をしないと後ろに行ったときの、なんでっていうところにちゃんと前のページで答えられるような説明構成になってないといけないかなと思うんで例示としてお話ししましたけど
1:06:10	本当はこの部分の梁が云々っていうよりは説明の流れとかそういうところをどうできちんと考えてくださいというお話だと思ってください。理解いただけました。
1:06:24	大成建設、ごめんなさい、どうぞ。
1:06:28	日本原燃佐藤です。はい。
1:06:32	そうですね、設定のちょっと考え方をについてへの説明を入れるというところを今考えてますので、その際に、どういう基本的な考え方で、
1:06:49	モデル化をやっていくのか。
1:06:52	何が何でも保守性を与えるんじゃなくて保守性とはこういうところで与えてその他については、実情に即した
1:07:03	設定を 1 しますというような説明を加えた上で、あとは詳細な設定がこうなってるっていうような展開にも適用いたします。以上です。
1:07:26	はい。規制庁込みます。
1:07:32	そうですね。とりあえず 4 ページに関しては私は以上です。
1:07:39	規制庁ハバサキです。ちょっと 4 ページで
1:07:43	先ほど来から話出てます上部架構の話ですが、これ詳細モデルと設計モデルは上部架構はこれ詳細モデルで郵送端部ですね、NESW各ええと 4 段目のうちの端部のモデルをそのまま
1:07:58	基本的には設計モデルでは採用するっていう考えてまずいでしょか。
1:08:06	大成建設が行うか。
1:08:08	大成建設タカハシです。その通りです。端部のモデルをそのまま設計をモデルに採用する。そう。それで結構です。以上です。タマザキです。それで等端部じゃない。中国って書いてありますけど、それの方は例えば

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:26	先ほど言った屋根の鉛直振動だとかですね、大きくなるかもしれないんですけどそこら辺、当端部のモデルで設計モデルの場合は、
1:08:35	上部架構としては問題っていうのは、後程示されるルール説明されるというふうに考えておけばよろしいですか。
1:08:45	堆積面でのすいません、お願いします。
1:08:50	日本原燃佐藤です。はい。そこにつきましては今回は国のほうでちょっと説明させていただいておりますが上部架構の設計についても今後同様に
1:09:05	もう少し丁寧に資料化して御説明するようにしますので、そのところで、
1:09:12	その中央端部の話についても、
1:09:19	問題ないっていうようなところを考え方から含めて御説明するようにいたします。以上です。はい、規制庁はハバサキです。説明理解しました。ちょっともう1点だけ細かい話先ほどらい話出てるその30cm分の5倍モデルの話なんですけれども、
1:09:37	一つの考え方としては、基礎盤の面積と駄目二次モーメント入れるっていうのもあるかと思うんですけども、いろいろと思います。申し訳ございません。ちょっとハバサキさんの世話途切れ取り合いになっておりますとちょっともう一度御発言いただいてもよろしいでしょうか。
1:09:53	はい規制庁ハバサキです。すいません。まず上部区画について、先ほど佐藤さんの説明は理解しました。それと5番にモデル顎張り要素の話で、ちょっとこれ1点確認ですけれども、その30cm分について、
1:10:11	一つの考えとしては、基礎盤の面積と断面2次モーメント入れるっていうやり方もあると思うんですけども、今ここは完全に剛な要素を設けているということでもいいのかでその結果等詳細モデルと固有値は合っていると。
1:10:27	いう説明があるということでそう理解しておけばよろしいでしょうか。
1:10:35	大成建設タカハシです。今のは私の理解でよろしいです。
1:10:40	以上ですはい規制庁浜崎です。わかりました。
1:10:44	私からは以上になります。
1:10:49	規制庁タケダです。そのほか4ページにございますでしょうか。
1:10:53	社長のキシノです。／4ページにつきましては号棟の図3からもありましたように、今どういう考えて設計モデルを設けたのかっていう説明を超えるということなので、次回、
1:11:07	これの説明っていうのは、
1:11:10	取ってくるだろうなと思ってるんですけども、前々週までのヒアリング等でのやりとりを踏まえると、ちょっと説明をかけられるのかなと思う点がありますので、年度止めると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:22	お伝えしておきたいと思いますが、／4 ページ目で、この設計モデル。
1:11:28	もう設定はこうでパラメータを設定てますけども、こういった書くパラメータについて、どのような考えがねらいで説明を設定したのか、これは 3 ページに説明が向こうかもしれませんが、
1:11:41	どういった形態目的でと設定したのか、そう設定をしたけど、そのねらい通りにいかない可能性も含めて、どういった課題があるのか、その課題を解決するためにどういう検証方法をとるのか、検証した結果、問題ないですよ、保守的ですよってというような、そういう説明に繋がる。
1:12:01	何かなって言うふうにイメージをしてって、サトウ先週のヒアリングでも管理官からですね、仮設をして、それを立証するプロセスってような話があったかと思うんですが、そういった流れを意識した説明が必要ではないかなと考えています。
1:12:18	次の 5 ページなんかは 3 ページで挙げた格好でいいかっこしについて、概ねそういった流れの説明がされているように思いますけれども、現状 4 ページに記載内容については、そういった説明にはなっていないということで、今後説明を越えられるということですので、そういった説明の中です。
1:12:38	意識して説明ができるように検討のほうお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。
1:12:45	日本原燃佐藤です。おっしゃる通り、我々ある活動も例えば周波数あメッシュサイズを変えごとによってとらまえられる周波数体が
1:13:00	20 から 13 に下がってしまったところはある意味、今回上に乗っているのが、機器ですとか配管ですとかそういう高周波数滞納評価すべきものがないということもあって、こういったことでも問題ないということは仮設を
1:13:18	まず置いてそれが実際ポンプっていうところをちゃんとお示するように、資料のほうは準備いたします。以上です。
1:13:30	それ長期すればですよ。はい。よろしく申し上げます。設定した項目の考え方や課題、その検証方法、そして検証結果に繋がるようなですね、
1:13:41	の流れの説明の検討をお願いしたいと思います。ページです。
1:13:50	規制庁のパッケージではですね。それでは 4 ページ目でよろしいでしょうか。
1:13:57	そうでは 5 ページ目の(2)に進みます。
1:14:01	5 ページ目はですねここでは
1:14:06	括弧Bとか降雨だし、具体的な確認方法について述べられておまして、このフェーズについては、よく説明をされているのかなとは思っております。
1:14:21	私からこのページは特に確認はないんですか、そのほか成長側からありましたらお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:28	ます。
1:14:31	規制庁上出です。私もページの中身についてはこれまでも止めてたような説明がされているのかなと思います。
1:14:44	位置付けですね、担当部だと
1:14:48	後備括弧Cに対してということですけども、
1:14:52	それに対する説明というよりは、
1:14:57	今回設計としては、液状化しない全応力係数等を浄化するっていう抗力の計算上、やります、やってそれであれば、杭を保守的に設計できるんですけどっていう説明なんだと思っていて、
1:15:15	そういう意味でちょっと説明の位置付けですね、そしたらそれはちょっとずれてるんじゃないかと思えますけどその点、事業所の方、何か。
1:15:27	意見等ありますか。
1:15:38	すいません、2億円サトウです。当月ずれてイズ点というのは、即それが書かれていないという
1:15:50	というところで、
1:15:53	人がずれているということでしょうかすいませんちょっとよく
1:15:58	私の理解が進まなくて申し訳ありませんが、
1:16:04	規制庁カミデです。5ページ目で確認する事項というのは東亜液状化するケースを
1:16:18	以上かするケースもしくは
1:16:22	7ページで言うと、液状化強度曲線の下限の包絡値で設計しておけば、保守的な設計、
1:16:38	ができます。
1:16:39	必要っていうことを説明するページなのかと思っていたんですけどその認識は合ってますかね。
1:16:48	日本原燃佐藤です。海外のわかりましたので。そういう意図でやっているというのが少しここにはしっかり確保は出ていないので、その点について、目的をもう少しガス分析明確にするというような
1:17:07	表現を考えたいと思います。
1:17:10	以上です。
1:17:12	はい、規制庁カミデです。このページにどう書くかって言うのもあるんですけどそれよりも3ページのところで整理されていればそれでいいというような感じもしますので、検討いただく形で、資料の構成なり説明ぶりを
1:17:33	検討いただければと思います。
1:17:44	規制庁の掛川です。その他5ページ目確認ございましたらお願いいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:50	規制庁カミデです。もう1点細かなところなんですけど、
1:17:56	ページで、施設のこういう周期た委員だけに着目すればいいよってなっていて、
1:18:02	それはそれでいいのかもしれないんですけど、それがやっぱり2ページになります3ページっていうローマに2ページなのかもしれないんですけど。
1:18:15	確かにこういう周期というわけでは1次のとこだけ見とけばいいねとか、これ以上のかたいところ見なくていいんだねっていうのがちょっと伝わるような上流の説明ぶり一系の意識していただければと思いますけど、いかがですか。
1:18:34	はい。
1:18:36	日本原燃イナヅマです。はい。ご指摘の点、了解いたしました5ページでここでは、施設の固有周期体を見るということは記載しておりますけども、それはしっかり前段の部分で、そういったところに着目するといったところも踏まえて、
1:18:52	対応していきたいと思っております。
1:18:55	ちょっとまだちょっとあの確認事項に戻ってしまうんですけども先ほど言われたのか、5ページの位置付けというところも確か-3ページになり得る点段にしたいと思っておりますか、それとも検討経緯として、この波及的影響評価という際には、
1:19:13	液状化の状態とまた冷え切っても状態を見ることで、設計としては、確定的影響とかしっかり評価できると考えているということを宣言した上で、その中間状態。
1:19:26	蓄光から
1:19:28	かかっている状態においても特異なReport何が出ていないというところを確認するといったイトウですね、前段のほうに記載したと考えてございますけども、このような認識でよろしかったでしょうか。
1:19:45	はい、規制庁紙ベース大枠としては方向性は合っていると思います。ちょっと気になる点は私の認識としては、
1:19:55	モデルの妥当性を説明しようっていうのと、
1:20:01	解析ケースがこれでいいですっていう妥当性を説明しようという二つのタスクがあるんだけど、どうもごっちゃになっているような気がして
1:20:13	4ページにあるようなこういうモデルで設定していいんですっていう
1:20:19	ここページ目にあるのはこういう解析ケースでやっておけばいいんです結構等なのかなとってそこは
1:20:27	この後の6ページ7ページに進みますけど何かごっちゃになっていくような気がするので

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:33	あわせて説明できるのであれば、それはそれでという気はしますが、ちょっと視点が違うので、モデルと解析ケースを選定するというのはちょっとは分けてわかるようにしたほうが、
1:20:48	いいんじゃないかという乾燥機に思ってますのでお伝えしておきます。
1:20:56	日本原燃山イナヅマです。はい、ありがとうございます。ただいま追加でいただいた御指摘の点、おっしゃ通りのモデルの妥当性の確認という試験と解析ケースをどのように設定すべきかという視点がございますので、そこはしっかりやってることを、そういったどのような目的でやっているのかということがわかるように、
1:21:16	結果としてやってることは解析的には同じことかもしれませんが、少し変わるししっかり表現して説明また折にご理解いただけるような資料構成資料を
1:21:28	アクセス性と考えてございます。いろいろ。
1:21:33	コサクですすいません。今の話を整理されれば大丈夫だと思うんですけど、先ほど言われた非液状化と液状化をやればいいんだと言った上で、その中間をって言われると何のこっちゃって感じになるので、
1:21:50	こういうことをやりますという宣言としていつつ、なぜならば、というところでこういうことをやってそれでいいことを確認しますということと言われたんだと理解をしますけど、そこら辺がわかるように、次資料作っというてもらえればと思います。
1:22:09	よろしくお願いします。
1:22:13	日本弁になってます。ご指摘ありがとうございます。今食べ残してきてるところ、私のほうでたことの非液状化べきとか見ていけばいいと言ってしまったけれども、なぜそこを見ればいいのかということも腑しっかり御説明表現できるような形で、
1:22:29	Reportのほうで考え方について述べていただきたいと考えてございます。以上です。
1:22:41	規制庁タケダです。その過去ページ目は確認ございますでしょうか。
1:22:49	よろしければ6ページ目の確認に進みたいと思います。
1:22:57	6ページ目、ここSTEP1 ステップ2と書かれていて、設定値は保守性を証明するために、こういった解析の係数を行うということでとび絡み真似があつてまして空気については、
1:23:13	そこで証明されたF性の確認を行った。
1:23:17	モデルに対してのコンター形成実施するという流れかと思っております。
1:23:22	それで、ステップ1、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:25	のですね(エ)埋設構造物の有無による拘束効果を確認するケースということで、
1:23:32	詳細モデルと整形モデルの応答の比較を行うということなんですけれど。
1:23:41	ここで言っている詳細モデルっていうのは、埋設物のモデル化しコインのモデル化CSのほか、もろもろ設計モデルと差分があると思うんですけれど。
1:23:57	単純にこの両者を比較することで、埋設構造物の有無による拘束効果の確認っていう目的は達成されるのでしょうか。
1:24:11	はい。
1:24:13	日本原燃佐藤です。
1:24:17	詳細モデルいろいろな設定の差異があると。
1:24:22	そういうところもあるんですが、
1:24:25	一番駅へ拘束効果という視点で見ると、
1:24:35	詳細モデルについては埋設物があって、足元されてる。
1:24:41	設計モデルは足元押さえるものがないということで、純粹に埋設物の有無だけの効果っていうことにはなってはいませんが、大きい応答に影響を与えるそのパラメーターの違いと、
1:24:59	いうものを見比べることはできるのかなということで、こちらの詳細モデルのほうを一つ、こう拘束効果の
1:25:12	生むのケースとして、
1:25:16	売上させていただいております。
1:25:19	以上です。
1:25:26	はい、規制庁の武田です。それっていうのは
1:25:31	その他やっぱり差分は里道埋設構造物の
1:25:36	あるなCTのがやっぱり一番効く。
1:25:40	からまた点、
1:25:42	単純に詳細モデルと設計モデルとの比較で、その影響の比較というのが推しはかれると。
1:25:49	いう仮定で行っているということですよ。何か検証されたわけじゃなくてそれ仮定の話です。
1:25:57	日本原燃佐藤です。
1:26:00	九州電力の赤司でございます。ちょっと補足をさせていただきます。詳細モデルと設計モデルの差分の先ほどの表を踏まえた創作訪問についての確認が今回資料で提示できておりませんので、
1:26:16	なかなかちょっと、ご理解ご説明ができてないところではありますけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:21	先ほど大成さんからもありました通り設計モデルでまず何よりも、原則は、実情を的確に戻れるか表現できるということで、そのうち詳細モデルとほぼ同等の結果が与えられるものであることということを実原則として組んでおりますので、
1:26:39	この埋設構造物の差分を除けばほぼそんなに差異はないだろう。ただ合理化モデル、これからも出たらすみません設計モデルではそこそこ過小評価にならない約700にならないよう配慮挟む出ますので。詳細モデルもシュミット小さめかなという目算が持っています。
1:26:58	で、そこに対してこの拘束効果を外してしまうと、より良い接客僕は大きくなるだろうと思うんですけども、もしやもしや国策エコの比較をしてみると、AirCoreの主務者っていうか、そういうネット見立てっていう前提に立てば、
1:27:16	この詳細モデルの結果が間違いなくこの経営設計も全部基準化と非液状化の間で配布だろうという予測を持っていますのでちゃんとそこに入るよねという確認をしようかと思っております、もしもこれが、
1:27:32	秋田リファイナンスで変なところに詳細モデルの結果を行ってしまうとあれっていう話になるので、
1:27:37	また、前提としては仮説がおかしいということになってしまうんですけども、そうじゃないということを検証するために、結果としてこの間に挟まっただろうということを確認した上で検証しようかというものでございます。以上でございます。
1:27:59	規制庁の武田です。補足ありがとうございます。
1:28:04	わかりましたその仮説を証明するために今実行するということではあるんですけど、その前提PRややっぱりあの詳細モデルと設計モデルか、ほぼほぼ前構造物を除けば、
1:28:22	影響が破損正子までとそんなに大きな影響にはならないものであるということについては、それぞれのパラメータの設定がどういうふうに変更されて、
1:28:35	テーマそのうえでそんなに差が生じるものではないよねっていうのが示された上で、ある程度の仮定として成り立つものだと思いますので、
1:28:44	やっぱり比較をですね、しっかりと説明を受けた上で説明をですね十分にさせていただきたいと思っておりますので、お願いいたします。
1:28:58	日本原燃夏場です。今の御意見箇所ムラノ先ほど4ページの部分につきましてもキトーさんから言われた通り、そのそれぞれの差分法の考え方、また経過のどのよう

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:14	ページ程度のようなことになるのかというところを踏まえてですねその部分につきましてもしっかり説明し、その過程が正しかったということをもって、こちらのここの保守性の確認というところにしっかり説明にはなって、
1:29:32	あと、資料としてまとめたいと考えてございます。以上です。
1:29:38	はい委員長だけです。はい。そういった体系があった説明ができるように、ハットリが内だって絵と資料の構成工夫していただければと思いますので、お願いいたします。
1:29:50	このページについては私からは以上です。その他規制庁側からありましたらお願いいたします。
1:30:02	補足です。今の話。
1:30:06	言うとですね、
1:30:09	ステップ 1、ABCというのはただ列記するのにABCとつけてるだけであればまだわかるんですけど。
1:30:17	表の中でABCとかいって矢印が書かれると、あたかもこの順番で挙動が変わっていくかのように見えるんですけど。
1:30:27	まだBCのほうはそういうことがあり得ると思うんですけど、典次元が違うような気がするし、実現というか観点が違うような気がするん
1:30:38	ですよKaseさんの説明もそういうことだったと思うんですけど、これ表であらわず意味って何。
1:30:48	の中で、ABC並べ
1:30:51	いるのって何か意味あるんですかね。
1:30:55	日本原電イナヅマです。今コサクさんに言っておっしゃっていただいたところ、外にございまして
1:31:01	表に記載した通り、この液状化から非液状化に対してこのABCの招待並ぶというところではなくてですか。
1:31:11	考えとしては先ほどの阿部さんから補足いただいた通り、トピックのページのところについては液状化非液状化のところの間に入るという別の視点でPCについても検討するというのでございますので、資料としては、表としては一緒くたにしてございましたけれども、
1:31:30	それぞれ間店舗となっているところがございますので、もともと表現につきましては、改めて整理をしてその中間の状態というのをしっかり説明できるようにしたいと挙げてございます。以上です。
1:31:45	はい、規制庁コサクです。誤解を受けないようにということでよろしく申し上げます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:54	ステップの金です。学校や一般のところです。ちょっとついでと申し訳ないですけど、液状化状態リート低位非液状化という関係は、基本的にはあれですかね、5 ページで言われたようなところもあって、
1:32:10	順々に挙動が変わっていくはずだということのもと、並びとしてそうなっているだろうっていうのを見ていくっていう考えてあるんでこの間に変な挙動というのは物理的にあり得ないだろうと。
1:32:27	いう理解でいると思っていくか。
1:32:32	日本原燃いいなと思ってそのような認識、そのような結果になるだろうという予測をしているというところでございます。以上です。
1:32:40	はい、わかりました。
1:32:42	まず先ほどの 5 ページに含めてコメントで対応されると思いますので、それで三重県になるかと思えます。よろしく申し上げます。木曾さんすみませんでしたよろしく申し上げます。
1:32:54	規制庁キシノです。すみませんちょっと今の予定というのを再確認なんですけども、先ほどイナヅマさんも御説明で、この 6 ページの小細胞テープ一般持ち込む前にその 4 ページのほうで先ほど私が申し上げたような
1:33:09	ここパラメーターについて
1:33:13	その設定が妥当であることの説明を個々のパラメータについて説明した上で、この 6 ページのような流れ落ち込むというふうに理解しましたけれども、そういう理解でよかったんです。
1:33:31	ストウ
1:33:34	日本原燃イナヅマです。はい、先ほどのようにちょっと説明したんですけども、ちょっと県、
1:33:42	それぞれの 4 ページで御説明者 3 分の説明の妥当性についてとセットで今説明して 6 ページとの関係につきましては、
1:33:53	先ほど皆さんが言われた通り体系的にまたストーリーが繋がる形で考えたいと思えますよと説明の順番につきましては、今ちょっと整理して説明したいというふうに考えてございます。以上です。
1:34:07	それぞれのキシノです。わかりました。
1:34:10	ちょっとご検討の方をお願いいたします。
1:34:13	それとですねちょっと 6 ページに関連してたんですけども、これ 6 ページの中身というよりは、資料の作り方というか論理展開が繋がるような説明の仕方についてちょっと幾つか
1:34:30	難しいんですかねと今回の資料がですね前前回とか前々回の説明に比べるとかなりロジックは繋がるようになったと一緒であるんですけども、今日の資料

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	でもですねまだ途中で繋がりが切れたり、展開してたのがどこかに行ったりしてるような印象受ける部分もあります。
1:34:50	で、ちょっとそういったところを次回の資料とかではきちんと繋がりがとれるようにですね、いただければより事業者の首長ショートして説明しようとしてるとこ整理回収がないかなと思いますんでそのあたりちょっとお聞きしたいんですけども、止ま組む。
1:35:09	5 ページまでの流れで／4 ページと 5 ページっていうのは買い取る確認方法になっているんだけれども 4 ページについては、具体的な確認方法、(イ)の方法考えっていうのは、先ほどタケダからも指摘があった通りで、ここで、
1:35:28	今の資料議長とその確認方法と言いながら確認方法の説明がなくてですね、3 ページ以前からの繋がりがここで時れたような形になって 6 ページに繋がらないところもありますので、これ先ほど
1:35:41	タケダ上関があったように、ちょっと直していただきたいのと、6 ページなんですけども、今 6 ページ側のSTEP1 とSTEP II というものを二つまとめて同じページに記載していますが、
1:35:57	ステップ 1 というのはおそらく 5 ページまでの流れを受けて、この設計モデルの妥当性保守性を証明するための解析ケースの説明というのがステップ 1 ページ、おそらく説明としては、このStep1 をやれば、
1:36:14	設計モデルの保守性という形の設定の合併説明ができていこうも杭の設計にこの設計モデルを使って構いませんよということで、ステップ 2 以降に進むものだというふうに理解しました。
1:36:32	その理解で正しいのであれば、6 ページ、この設計人ステップに並べるのではなくて、まず、このStep1 までの流れを完結させる。
1:36:42	うん思うな説明にしたほうがよいかと思います。ステップ 2 っていうのは次のステップということで、時動けてまた改めて説明するという展開のほうがよいのではないかなと思ったんですが、まずは
1:36:56	そういう趣旨で正しいか事業者の見解を教えてください。
1:37:04	日本原燃イナヅマで失敗、今キノさんがおっしゃられた通り、STEP1 までは外のスクリーンの設計に様態が今回企業者考えている兼務での妥当性について説明するといったことで一貫組み入れると。
1:37:22	もちろん杭の設計だけではなくて、ほかの頂部構造についても同様の／等々の等々であるとか、もしくは保守性があると説明した上で、トータル的に最終的に、ステップ 2 のところで、
1:37:38	国の設計に限らず、及び防護ネットというところのか 1 ケースっていうのは、明石市については、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:48	国の日に書いてるようなものを実施するということをございますので、サトウ離婚地点はちょっと一緒にやっぱり書くのではなくて、
1:37:56	一旦STEP1 までのところでまとめてまとめという形でくる接客のように実施しますというところを記載する形で整理したいと挙げてございます。以上です。
1:38:09	規制庁の荻野です。はい、わかりました。おっしゃる通りでSTEP食う地までの説明ってのは、杭を回復例示してますけれども、その他の部位についても当然へとされて、それから完結した上でSTEP2 ということで、おっしゃる通りだと思いますので、様々な
1:38:28	前回認識してですね、ちょっと資料の構成のほうを見直していただきたいと思ひます。
1:38:33	あとちょっと細かい点なんですけれども、この全体のストーリーといひますか、ロジックの繋がりがちゃんといえるようにずれてるようには見えないようにするために幾つかちょっと切つてるところがあれば、言葉がですね案もやはり連続的なタスクフォースでも、
1:38:53	ところがた幾つかありまして、例えばこの 6 ページSTEP1 目的で保守性を証明するために、から始まつてるんですけども、3 ページまでの流れですと、
1:39:07	ご異議伝達される地震荷重が大きくなることを確認するという目的があつたかと思ひんですが、それは 6 ページでは、目的は変わつちやつたのか、それとも言葉を言ひかえてしまつたのか、どちらかわかりませんけれども、
1:39:23	これは 3 ページ。
1:39:25	それにプラスが合計 15 ページからも流れを
1:39:28	つなぐのであれば、保守性を証明するためではなくて、整合のとれた表現した方が医療ないかなと思ひますが、本当に事業者見解ですか。
1:39:47	はい、日本原燃佐藤です。はい。
1:39:51	おっしゃる通り、ちょっと
1:39:54	保守性というワードに
1:40:02	水理変わったつていうわけではないんですが、
1:40:09	当番の繋がり方ですね、側溝あモデルの妥当性はひ。そういう意味ではここでいきなり保守性つて言つた提携何ぼつていひのは、
1:40:24	だからそういうところがなくなつていひるので、少し話の流れが繋がるように、この
1:40:30	表現については訂正いたします。以上です。
1:40:35	全長キシノです。はい。南保保守性をつていひ言葉を足すというよりは、深層防護前までの流れて何を目的にして進めてきたのかつていひことを踏まえてそれと同じ表現使つたほうがいいのではないか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載してひます。

発言者による確認はしてひません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:51	指摘です。言葉を変えてしまうとですね、また目的が変わったのか、ここでまた別のとこにちょっとオオオカ今までの3ページだと地震荷重が大きくなると確認するって言って多分それとこっちゃったんだってというような印象を受けましたので、
1:41:06	3ページの目的とか、先ほどちょっと議論があっても見直しをされるかと思うんですけども、それ、そういった中でですね、ちょっと繋がりがとれるように言葉を、それやるべきところはそう言っていただきたいという趣旨で申し上げますので、そこのご検討いただきたいと思います。
1:41:25	もう一つ情報を見ますと、後ろの参考資料になりますけど、10ページですね、(5)に、ここに表示の抗力括弧地盤振動影響って言葉が出てきていて、文章って何だっつって思っちゃうんですけども。
1:41:43	おそらく、1ページに戻って右上⑤番、の地盤改良地盤の変形量のことを指してるんだらうなというふうに思います。これデータロスへと11ページ、先ほどカミデからも指摘があったんですね。
1:42:00	特に用語の整合がとれてなくて、繋がりがいまいち明確になっているという指摘もあって、こういったところがですね資料全体になろう。日経られて、
1:42:10	今までも何度か類似出してこうしてつけるんですけど、やっぱりどうしてもそういった所残ってしまうと、きっと。
1:42:19	全体のその説明ロジックの展開繋がりをよくするためには、同じ意味を指すのであれば同じを使うっていう基本サポートもして、やっぱりそういう目でですね、再度
1:42:33	海丘説明の際にしる全体を見渡して、不整合や繋がりが取れるような表現がないかといった観点で見いただければと思いますが、
1:42:43	手話伝わりましたでしょうか。
1:42:47	はい。
1:42:48	日本原電イナヅマです。はい、資料の方、いかがいたしました冒頭くりサトウがやった通り参考資料と本文7は問わずですね。用いる要望を整合させる、もしくは用いるIIですとか、モデル図の表現等についてもちょっと
1:43:05	全体を見させて、その繋がり流れというのがわかるような形で整合させるというところについて今一度確認の上、次回の資料、今後の資料につきましても、しっかり見直して提出したいと思っております。以上です。
1:43:25	規制庁の木のうち、よろしく申し上げます。以上です。
1:43:36	別のタケダです他6ページ目でございますでしょうか。
1:43:42	よろしいでしょうか。
1:43:45	フジノです。ごめんなさい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:48	番 7 ページ 8 ページも今の
1:43:52	悲しいを遅くするだけではきませんですけど、6 ページのStep2 の花Cは、先ほど規制のカラーSTEP1 棟話が違うので別ページでということで別でまとめられると思うんですけど。
1:44:07	これの説明が何もないんですね。
1:44:11	何でばらつきについては、
1:44:14	代表ケースなんだということをこれまでもいくつか話終わったと思うんですけどそれが求められてなくて、
1:44:22	それと多分 8 ページの表は、同趣旨なんだろうと思う。
1:44:28	ですけど。
1:44:29	先ほどのキシノのコメントを踏まえてどう対応されるつもりかをもう少し説明していただけますか。
1:44:40	はい、部分でサトウです。
1:44:43	おっしゃる通りステップには設計的な対応を評価評価というか、設計自体の話になってまして、その際にばらつきについて、こういったケースを使いますっていうのも、
1:44:58	説明なくたいま 11 ページに丸を打ってますんでそこについてはしっかりとという考えのもと、
1:45:08	このペースを
1:45:11	やりますというところも述べさせてもらいたいと思います。
1:45:17	ちょっと補足しますと 8 ページの一番下に米を打って今回生徒しわについてはばらつきケースとして検討しておりますが、これ実際 13%を全部並べて日
1:45:37	影響の大きい地震がどれなのかっていう。まずそういう評価をした上で、これ以外にも大きいものがあるば、もちろんばらつき係数については、加えていくというそういう趣旨がちゃんと伝わるように、ステップには
1:45:53	別立てでしっかり説明するようにいたします。以上です。
1:46:04	規制庁コサクです。今の説明だと。
1:46:09	6 ページのbで書いてあるのと 8 ページで書いてあるので、表現として不整合が生じているけれども、ほぼちゃんとあきますという説明であって、
1:46:22	8 ページで言っているそのAとCワンは必ずやりつつも、こういうものがあればもう一つやるというので 2 か 3 ケースっていう
1:46:32	ことになるんですか。
1:46:39	日本原燃佐藤です。はい。おっしゃる通り、
1:46:46	今までほかの施設の音とか見ると、まずこのには確実にあるだろうなっていうことで今、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:52	考えておりますが、もちろんこのし、防護ネット加工特有のその振動特性もありますので、そういうのをちゃんと評価した上で、月について決定検討するケースについては抽出いたします。
1:47:10	はいいってしまう規制庁コサクです。実情はわかりましたけど、最終的に設工認としてどうするかっていうところの考え整理しているまともてもらえば結構です、
1:47:23	よろしくお願ひしますってアノンと引っ張りの確認も南米代表できるんだとかっていったところでばらつきケースって一体どういう扱いなんだっていうことをちゃんと述べていただくのが大事だと思いますのでよろしくお願ひします。
1:47:38	日本原燃佐藤です。そこそこの説明をしっかり加えた上で、
1:47:44	ご確認いただけるようにいたします。以上です。
1:47:56	規制庁のパッキンです。
1:47:59	では七、八ページ目の括弧なんですけれども、
1:48:05	※5kmのところですよ。
1:48:09	今の説明もあつたんですけれど、ステップ2でこれ以外に影響の経費できちんと確認された場合は、実施ということなんですけれど。
1:48:21	これがどういった判断基準で選定するかって言うのはシェア考えは、
1:48:27	あるでしょうか。説明
1:48:29	いただけていると、次お願ひいたします。
1:48:36	はい。
1:48:37	はい、日本原燃イナヅマですと、こちらの判断基準につきまして、
1:48:42	は応答のほうで御説明しました、やっぱりちょっと2ページのほうで杭の設計というところで着目すべき建家応力解析ということ解析着目すべき応答のところと赤字で記載させていただきました。
1:49:00	こういった観点を置いた指標において、
1:49:03	はい。
1:49:08	影響の大きい地震動というのを今はAとCワンという形で挙げてございますけれども、その他の地震動についてもやったの意識した上で影響が大きければ保持についても確認をするといった趣旨で、
1:49:23	考えているというところでございます。以上でございます。
1:49:29	以上のタケダです。
1:49:32	判断する指標としては理解をしました。
1:49:37	それが影響が大きいという、何をもちて大きいと判断するのかとか、そういった変形がいかがでしょうか。
1:49:50	上にサトウです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:52	指標の大小が最終的に部材評価の応力の大小に繋がるという、そういった説明も
1:50:02	これちゃんと加えて述べておかないといけないと思っておりますので、それを持って
1:50:12	6日後、そのばらつきケースを選ぶ際の仕様等、
1:50:18	に使っても問題ないといったところが確認いただけるように整理いたします。以上です。
1:50:25	わかりました。そういった判断指標基準とかってというのは具体的にシステム述べていただいた上で述べていただければと思いますので、お願いいたします。
1:50:39	7ページ8ページその他、規制庁側からありましたらお願いいたします。
1:50:47	それとのキシノですね、ほぼにより取手ちょっとよくわからなかったんで再度確認ですけども、あんまり開示に分けられてる指標に基づいて判断することなんですけど、これは今後事例書いた市場としてみて下げられるんでしょうか。
1:51:05	その三つよっつうそれぞれについて最大を与えるような基準地震動を以降のステップで選定するとか、或いははあまどれかで代表させてしまうとか、或いはの一つの指標に着目したときに、
1:51:23	大きいSs沖のトータル量システムがあるんだけどそれに非常に近い小さくしたような対応したLSも
1:51:30	ここに超えますとか、そこに今回ことっていうのが今後の説明の中で必要になってくるかと思っています。今の時点ではどこまで固まっているかわからないんですけども固まってる範囲で結構ですのでそこら辺の考えてちょっと教えていただいていいですか。
1:51:54	2個目のサトウです。
1:52:00	考え方としてはマツ13／に対してすべて、税務力解析有効応力解析を実施してその際にかも出て示しましたせん断力加速度どう
1:52:16	あとわ一風景それに後、
1:52:21	実行ばものブレースの評価の際にははずみといったものも必要になりますんで4項目。
1:52:31	について、最大になる決心等をそれぞれ4項目ごとに選ぼうというふうにはそうさせております。
1:52:52	慎重に決めます。
1:52:54	ということは、例えば4項目それぞれで再度打てる地震動が違っていたら、4論破選ばれるわけですけど、その4%でもって以降のばらつき係数をやるっていう考えたってということですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:13	行目年参考です。
1:53:15	言葉だけだとあれなんで理解までに選び方の方法もちょっとお示したいと思いますが、例えばせん断力に着目する等、戦略自体は-4層区分ありますんで。
1:53:34	例えば一番上の層が
1:53:38	先生で、下の層がCはその下の層が例えばBP盤というふうに出てくれば、それで産廃ライブがすし、それとは別に今度は加速度を見たときに、
1:53:52	訂正が最大であれば、
1:53:56	先生先ほどせん断力とかぶるんで、それももちろん選べますで変形を見たときには、例えば液状化すると長周期化すると思われるんで、長周期の波が
1:54:10	また新たに出てくると。
1:54:12	その波は、
1:54:18	いや、
1:54:19	うん。
1:54:22	すいませんちょっと舗装入ってますんでちょっと中断いたします。
1:55:03	原燃サトウです失礼いたしました篠酸の考えになっている通り、まずはその最大のものを選ぶということでございました。はい。規制庁で地震です。御説明等ございますけトーマツ雰囲気というのは、
1:55:18	わかりました。それとも今御説明いただいた内容で今ちょっと検討中ということかと思しますので詳細はまたですね、付則説明資料なりでまとめられてからそのぜひとかPARのまた議論させていただければと思うんですけれども、いずれにしろそういった報道行った結果、
1:55:34	設計の今後のステップの中でどういった検討ケースをしていくかという考え方の説明会の重要になってくるかと思しますので、かっこうですね資料の資料では御説明できるんじやの準備のほうに出したいと思えます。
1:55:47	よろしいですか。
1:55:49	日本原燃サトウでしようといいたしました。
1:55:53	続いての記述だと、すみません、7ページについて一つと。
1:55:57	核になります、この表の中で状態B液状化強度曲線の平均値。
1:56:05	低価格で軽量化と非液状化の中間的な状態を設定するのに液状化強度曲線を変えることで、それを模擬しようとしているんですが、今回の有効応力解析及び全応力解析ともにFLIPを使うと思えますけれども、
1:56:24	この中間的な挙動を持つてくるのは、この液状化強度曲線の設定だけでいいのか、ほかにも解析値を設定するパラメーターの中で、それと合わせてますか、中間の状態を模擬するために、時来るべき見れたが、ほかにも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:42	来についてちょっと簡単に教えていただいてもいいでしょうか。
1:56:55	有限サトウです。すみません大成建設さん、
1:57:01	我々は
1:57:04	液状化抵抗曲線が一番大きな液状化の状態を支配するものだというふうに理解していたんですがもしその他のパラメーターといったものが、
1:57:17	うん。
1:57:19	大きく危惧するのかもしれないのか、ちょっと
1:57:24	は敷設の方をお願いいたします。
1:57:27	はい、大成建設の
1:57:29	堀田です。今のサトウさんのおっしゃられる通り、今回あの解析日液状化も液状化もFLIPという影響Gを使っておりまして、このプログラムの中でやはり最もこの液状化に対して影響が大きいと言われて考えられますのは前基準化強度曲線だろう。
1:57:48	いうふうに査定しております。そのため、一つとして、液状化強度曲線チェックいたしまして、包絡値ではなく、これ書いておりますように、少しですね、液状化を入れてたような状態ということで、平均値を採用することによって、
1:58:04	取り込んだ降下といったものが軽減されるんではないか、検出今後非常に大きなですね、指示として出しました強く多様な効果が得られてないかというふうに考えて、今回は状態Bというものを設計したというふうに考えております。以上です。
1:58:23	気象庁のキシノですよ。はい、わかりました。えっとですね、有効応力よく応力解析全応力解析に限られてフリップの中で設定するパラメータって有効応力解析の場合は、液状化パラメータとしてこの液状化抵抗曲線を決定付けるような
1:58:40	メーターがあったかと思いますが、それ以外にもですね、防水剛性に関する同定結局線ですとか、パラメタってかと思いますが、今の御説明は、そういったものでもこの液状化抵抗曲線での設置、
1:58:58	定が支配的で、それを設定すればこの中間受総体ってのは模擬できると考えだというふうに理解しました。その理解でよろしいですか。
1:59:11	はい、大成建設が掘ったりする。はい。そういうふうに考えております。以上です。
1:59:18	それとの違いですわかりました。このあたりはですね、ちょっと補足説明資料等もどういったパラメータ設定したのか、それぞれはなぜこのパラメータに着目して、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:28	あと妥当と考えたのかなどが説明されるかと思imasのでそちらのほうで確認したいと思imasので、資料の準備のほうであります。私から以上です。
1:59:43	規制庁タケダですとか何か穴ページ 8 ページございますでしょうか。
1:59:53	よろしいでしょうか。
1:59:55	では、9 ページ目からは参考のページになるんですけれども、9 ページ目以降まとめて、
2:00:04	ここで補足説明資料とかでもって眼される場所かとは思うんですけども、9 ページ目以降規制庁側から確認がありましたらお願いいたします。
2:00:20	規制庁ハバサキですね。そしたら、ちょっと参考杭の設計の流れのところですね、これは補足説明で詳細な説明を今後あるかと思うんですが今の段階でもし回答できたということです。まず気象
2:00:35	のFIRE江藤支店として地盤ばねといいますかばねをつけると思うんですけど、その視点の反力が杭に作用するという形になると思うんですが、その支店とする場ではどういふばねを今考えられてるか説明してください。
2:01:02	体系的タカハシです。今のカワラサキさんの質問というのは、地盤の変形に対して杭の応力を算定する際に、各地盤ばねをというか食いにばねを設けて
2:01:20	とくんではないか、そういう意味でのご質問でしょうか。
2:01:27	規制庁ハバサキです。この基礎の解析モデルに、
2:01:33	確かに大飯の 1 で起点をとって、
2:01:38	で、国のモデルに差異化して、その支店反力を杭等かけると。
2:01:45	いう評価をされるというふうに理解してたんですが、まずその評価は 8 台と合ってますでしょうか。
2:01:53	えーとですね大成建設タカハシです。
2:01:58	ページで言うと、これ今 11 ページのところの上の図のことをおっしゃってるんだと思うんですが、ここの杭の支店得意の位置においては、もう完全に金固定にしておりまして、場合分けておりません。
2:02:14	で、ここの地点反力で得られた水平方向鉛直方向をその力を杭に作用させる、そういうふうに設定しております。以上です。
2:02:29	規制庁ハバサキですわかりましたあとばねをつけてないということで理解しました。ちょっとそれはそれでよろしいんですね。
2:02:38	はい、大成建設カード足です。
2:02:41	それで結構ですはい規制庁浜崎です。わかりました。ありがとうございました。
2:02:52	規制庁タケダです。その他参考などと規制庁側から工夫がありましたらお願いいたします。
2:03:07	よろしく。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:10	それでは本資料の確認は以上となりますので、種それで人間の方から修正の方針について説明いただけるでしょうか。
2:03:24	日本原燃イナヅマです。はい。本日いただきました資料を特にですねストーリーにつきまして、当体系的に説明するところの流れがわかるようにという御指摘があったと思いますので、想定踏まえて、資料の方。
2:03:40	清掃したいと思っています。
2:03:43	本日の修正の
2:03:47	ANSI提出につきましては、現在で来週の下に修正版としてSCまた御確認いただけるように準備して参りたいと思っています。すいません追加で申し訳ございませんが、本日のヒアリングにおきまして、規制庁が原燃側とも
2:04:07	日介助を下回る発言はなかったという認識してございます。以上でございます。
2:04:14	規制庁の掛川です。説明にぱっと答えます。
2:04:19	7日に資料が提出されまして、
2:04:26	今回の資料っていうのは目次だけに着目をした県モデル妥当性の確認ということなんですけれど、それが整理された上で、他の部分への展開がされていくものと思っています。
2:04:39	それらが全体の整理がなされた時に会合というふうに思っているんですけども、
2:04:48	その会合というのはもう13日には風間森川とは思ってるんですけどそこはもう23日に
2:04:56	データが整理されて説明がされるというふうに思っているんですけど、そこは認識は合ってるでしょうか。
2:05:06	はい、日本原燃佐藤です。
2:05:08	質疑の通りちょっと13日は
2:05:15	この杭の整理が、
2:05:18	終わってからってということになりますと、
2:05:20	ちょっと無理かなと。
2:05:22	その次の会合に向けた資料の中で、その全体、今回福井だけですが、区以外の基礎ですとかああDEMですとかそういった設計についても、同様な整理をした上で、
2:05:40	それと、さらには今日いただいた推奨の妥当性とか、また着目する部材が
2:05:55	そのそもそも杭とか、基礎とかフレームSをそれでいいのかといったそういう整理も含めてですね、所等
2:06:04	今月末の会合に向けて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:07	黄色がちゃんと説明し終わった後で月数注のほうの 10 ページのほうをさせていただきたいと考えております。
2:06:19	はい。以上です。
2:06:21	規制庁の武田です。ごっこありました。それと解体される認識をあけるということで確認できました。当すべてですね好むかに今回の提出をいただいた資料のブラッシュアップ版が提出されるということなんですけれど。
2:06:38	補足説明資料のできれば、この対応とかって、
2:06:43	いただければと思うんですけど、準備状況でどんな感じでしょうか。
2:06:51	はい、日本原燃佐藤です。上がって落とすできるように準備進めておりますので、7 日にはお出しするようにいたします。
2:07:05	状況確認はい規制庁武田です。わかりましたじゃなのかにほど説明資料も出てくるということで了解いたしますので準備をお願いいたします。
2:07:14	では全体を通して規制庁側からございますでしょうか。
2:07:23	規制庁ハバサキです。今回時の中心或いはこれ今後のその詳細モデルじゃなくて設計モデルを中心に設計を進めるということで今後説明があると思うんですけども、徐々に解析結果も今後説明があると思いますので、
2:07:41	その中でちょっと 1 点だけですね以前こちらから聞いたことで、疑問もあって要はフレームの上部架構のフレームについてですけども、
2:07:55	二目を考慮してないっていう説明が、こちらからの問いに対してですね。確か三菱の方が
2:08:03	回答されていたんですけども、今神経のモデルを見ると、やはり回転慣性を上部のほうを考慮しているんで深めは生じ得るというふうに私自身は思ってますので、ちょっとそこをきちんと今後作業する上でですね、確認をしておいてもらいたいというふうに思います。
2:08:23	よろしいでしょうか。
2:08:29	日本原燃のイナヅマです。はい。もう直モデルのそして県の考え方につきましても、先ほど申しあげましたの補足説明資料の中でもしっかり説明したいと考えてございます。以上です。
2:08:43	はい規制庁浜崎です。お願いします。
2:08:46	以上です。
2:08:49	規制庁タケダですとか、規制庁側から何かございますでしょうか。
2:08:54	はい、古作です。直径ところいったところの気づきのるんですが、定例
2:09:03	補足説明資料なのか出すっていうのはどの程度の内容なのかはよくわからないんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:10	今回の杭の話を踏まえて全体展開をしてそれに応じた補足というのもありてかつ今ハバサキから少しコメントありましたけど、結果を示していくと。
2:09:26	ということになっていて、
2:09:29	いうところで、
2:09:31	どのタイミングでどういうことまでやっていくのか、先ほど月末の会合でございましたけど、今確保してるのは23日のもので、そうすると3週間しかなくてですね、なのかといった後の進みっていうのがよくわからないんですけど、その辺りの原燃の観光聞かせいただけますか。
2:09:57	はい、系統、日本原燃佐藤です。
2:10:01	なのか、或いは懇今回の修正版のほうを渡して
2:10:08	できれば、
2:10:12	早い段階でヒアリングさせていただいてそこへとそ
2:10:16	ヒアリングの応答を踏まえた上で、当会合用の資料もストウ評価ずに提出させていただいて、
2:10:27	きたいというふうに考えてます。
2:10:29	具体的に言うと9日にもヒアリングしていただけるのであれば9日の夕方には介護資料といったものも、まずはお出しさせていただきたいというふうに考えております。翌週、
2:10:44	介護試料に関するヒアリングをさせていただいた上で、23日に臨むというような形です。あと補足説明資料ですがなんかについては、今回用います設計モデル、こちらの保守性や妥当性。
2:11:03	そういったところがしっかりデータとして挙げたっていうかのエビデンスを含めて、ス示せるように、そういう今整理しておりますので、ちょっと情報が今後の解析については、そのモデルが
2:11:22	しっかりしたもんだということも踏まえた上で
2:11:26	作業の
2:11:28	進めたいと思っておりますので、ちょっと状況加工の評価についてはまた追ってですね、
2:11:37	補足説明資料のほうは準備させていただきたいというふうに思っております。
2:11:42	以上です。
2:11:47	そこです。今の話でいうと、エビデンスも含めてっていう意味だとすると結果も入ってきちゃうような気はするんですけど、まずはあま結果を出すにあたってのモデルの設定としての詳細と、
2:12:04	いうことをモデルで使っている条件なり設定値といったことの説明と、
2:12:11	いうことは一式入っていて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:18	杭は当然のことながらそれ以外の実行についても何を検証しなきゃいけないのかみたいなことは、資料としては9日夕方って先ほど言われましたけど、
2:12:29	補足説明資料として欠ける部分はもう7日の分離を書いて出すっていうことですか。
2:12:40	日本原燃佐藤です。
2:12:42	なのっカードに
2:12:46	補足説明として資料としては入ってくる。結果っていうのは、今日ご覧いただいた6ページの
2:12:57	ステップ案で実施する、こういった液状化の状態による
2:13:06	前影響度合いをしっかりと確認できますといったところもあってお出して、このSTEP IIといったものはまた別途ですね、お示しするような形になるというふうに考えております。
2:13:23	来300以上です。はい、古作です。STEP IIは実はこれは継承ではなくて、まさにその耐震評価そのものだと思っていてですね。
2:13:36	私もそこは相手に出してないですけど。
2:13:41	ステップ1の部分であってもスツ今日議論したような内容を整理し、かつ杭以外のものも整理し、内容をしっかりと提示いただかないと確認できない状態なので、
2:13:56	7日に全部本当に出せるんですかっていう疑問はあるんですけど、少なくとも今日ヒアリングをして、その対応は
2:14:07	まずはなのかは、杭の部分だけを出すということではありつつも、
2:14:12	社内では、ほかも含めて対応、同じような対応を進めていって、いつ進めている部分については補足を入れるということ。
2:14:22	の話もないと、この軽症の内容をもう入れますって言われてもしっかりこないんですけど、その辺り認識をされてますか。
2:14:34	はい、日本原燃佐藤です。もちろん補足説明資料には国だけではなくて、設計モデル全体の話になりますので、その他の
2:14:47	評価対象部位に関する
2:14:51	説明も入れた上で、これはしたいと思います。
2:14:56	以上です。
2:14:59	規制庁黒川です。わかりました。と言いつつ、来パワーポイントのレベルでも整理できてないと細かなところで、
2:15:11	細かな資料の書きぶりをどうのこうの言ってもしょうがないようなところがあるので、考えはそこでざっと見させてもらいつつも議論はこの高校の場に出てくる資料踏まえて具体的なところはやると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:26	ということかとは思いますが。一方で出てモデルの詳細だったりっていうのを確認しとかってというのも時間はかかる大事なポイントだと思いますので、適宜提示いただければと。
2:15:42	ということかと理解をしし、
2:15:46	て、そうすると年内の状況とするとステップ案の
2:15:53	状況までと。
2:15:56	ということで、STEP II の方っていうのはどういう形になるんでしょうか。
2:16:06	日本原燃佐藤です。STEP II につきましては、どういったら、部材にどういうふうに着目してどう評価するのかといった、結果が入ってないんですが、どういう確認をするのかといったところ、
2:16:25	については、ちょっと御確認いただきたいなと思ってます。ですんで、
2:16:33	ウェイ表みたいなものを、の説明までは
2:16:40	できればしたいというふうに考えておりました。そのあと、
2:16:45	しっかり結果を確認した上で、9 的影響の有無について最終的な確認をしたいというふうに考えております。以上です。
2:16:59	補足です。当然ですね今日の資料で、STEP II というのがあってですね、書き方はちょっと変えるような話はありませんでしたが、この資料で外せということではないので、先ほど、
2:17:14	何かなんて言われたかちょっと覚えてないんですけど、どういうことをやるかということについて明確にしていくっていうことは行っていただきつつですね。
2:17:24	結果が出るのはいつぐらいですかっていうことと、あと、これの中身っていうのもう、
2:17:31	設計モデルの結果という事でしかこれだと、ないような気がするんですけど、検証としてそれに対応する詳細モデルの
2:17:43	解析もやるというふうに言われたような気がするんですけどそのあたりでとまってですか。
2:17:51	日本原燃佐藤です。はい。
2:17:55	詳細モデルについても、設計モデルとの比較を通して設計モデルの妥当性を示すという、そういうやり方が必要かと思っておりますので、
2:18:13	企画ができるような、今準備を進めているところでございます。
2:18:23	以上です。
2:18:25	規制庁個別中なの断片的に使う毎回答えていただけないので、全体像として先ほど年内はこの程度っていうのは言われましたけど、じゃあ年明けで 1 月に、どのタイミングでどういう情報ができて、
2:18:40	頭出していくのかというイメージがまだできてないようですから、次回のヒアリングではそこも含めて説明いただきたいですし、いう今話をした詳細モデルの

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	話も、ここでは見えないので、それも含めての全体体系だと思いますから、次回おそれもあわせて説明できるようにしてください。よろしく。
2:19:03	日本原燃佐藤です。承知いたしました。
2:19:12	タケダです。その他規制庁側から確認ございますでしょうか。
2:19:19	規制庁カミデでそのスケジュールについてすみませんちょっと追加でわかんなかったんで確認なんですけど、今日の資料、今日の測位に着目した。
2:19:30	資料のブラッシュアップ部分なのかに提出され、
2:19:36	ご意向無形の資料を9日っていうことだったんですけど。
2:19:40	7日に提出される資料のヒアリングをいつごろ設定してっていうイメージを見ますと、
2:19:51	はい。
2:19:53	日本原燃佐藤です。
2:19:56	できれば9日にヒアリングをしていただ
2:20:01	ければというふうに考えております。
2:20:06	規制庁カミデですと学んで杭の話をしてるかっていうとそこでまず一式まず綺麗担われるように整理してほかのものにも展開して全体の体系を説明してしましょう。
2:20:21	してもらおうというふうになっているのに、今日のブラッシュアップが
2:20:27	のヒアリングは9日でそれをそのヒアリングを何も踏まえずに9日に資料が出てくるっていうのはちょっと理解がしがたいんですけど。
2:20:39	ですかね。
2:20:43	人間サトウですが、規制いたしましたおっしゃる通りだと思います。今回のヒアリングを受けまして、全体の資料への反映を踏まえた上で、市の方は
2:21:00	同じたいと思います。
2:21:04	はい、規制庁カミデです。23日睨んでっていうところだと。
2:21:10	9日に資料提出っていうのはあったほうが良くて1インチずれると変わるかもしれないんですけど、ちょっとそのターゲットを踏まえて、7日の資料を
2:21:24	いつどうするのか、
2:21:26	1日前倒月曜日だったか、7日の午前中に絶対出すので。水曜日用で買いますだとかをやらないですけど、もう少し段階をイメージしてスケジュールを。
2:21:42	伝えていただければと思いますけど。
2:21:45	ですから、今の段階ではちょっとまだ詰めでないって感じですかね。
2:21:52	はい、日本原燃佐藤です。はい。
2:21:56	ちょっと
2:21:59	しっかりお約束できる

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:22:03	期日ではないんですが、7日の早い時間時価具体的にOd提出させていただいて、なるべく早めにヒアリングをしていただいて、それを踏まえた上で、区以外の全体が入った。
2:22:22	マップ部会会合向けの資料を直してお出ししたいと考えておりますので、まず7日の午前中の提出に向けて作業の方をしっかりと進めさせていただきたいと思えます。
2:22:40	規制庁カミデですと／来週の話ですので、こちらも会議室なり会議システムのことがあるとななるべく早いタイミングでスケジュールを確定させて事務的にまず学校いただければと思えます。あと
2:23:01	そういう状況なので、し、全今回の杭の市場をであれば住まい
2:23:09	ものバックなのでというのもあるんですけどもっと事前に間の余裕を持ってしっかり確認した方はヒアリングでもよいという、もうこんなしないと提案積極的にスケジュールを。
2:23:23	考えてくださいというのは個目。
2:23:26	よろしくお願ひします。
2:23:29	日本原燃佐藤です。承知いたしました。
2:23:36	コサクです。一応カミデの言いたいところもわからなくはないんですけど、
2:23:44	パワポの部分であればもうすでに話はしてあるやつがちゃんと書き起こしているかっていう多岐になって資料提示からヒアリングっていうののタイムラグはそんなにいらな確定はただセッティングした後に資料が間に合いませんとかって言われる等混乱するので、その辺りをちゃんと整理をして進めましょう。
2:24:05	いうことだと思えます。一方で、それ区域以外のものも含めた資料でヒアリングっていうときには、7日に補足説明資料出されるって言いました。言われましたけど、そういった内容も含めて議論技術論を一つ一つ潰し込めるよう、
2:24:25	ヒアリングをしていく必要もあるだろうということですから、7日の補足説明資料の内容も踏まえながら、
2:24:34	ヒアリングの日程を調整することかなというふうに思えます。いずれにしても予定が崩れないようにですね、しっかり等原燃で作業の
2:24:46	程度感を見て、スケジュールの連絡をしていただければと思えます。よろしくお願ひします。
2:24:55	日本原燃佐藤です。承知いたしました。
2:25:02	その確定町側から確認ございますでしょうか。
2:25:09	よろしいでしょうか。では日本原燃の方からそういうものを何かありましたらお願ひします。
2:25:18	はい、日本原燃です。ここにございませぬ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:25:23	はい、わかりました。それでは本日のヒアリングは声で終了とさせていただきます。遅くなりまして申し訳ございません。
2:25:30	お疲れ様でした。
2:25:34	さまでした。
2:25:35	本当にその通りです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。